

【史料1】天野貞祐文相「国民実践要領」(1951.10.15参院本会議)

[戦後の日本は] 反動的に極端な個人主義が支配し……国家が個人の母体であり基体であるということ人を自覚していない。従つて又国家の象徴であるという意味、日本国の象徴たる天皇、即ち象徴という意味も十分に理解させないような点から、この混乱が来ている……近く一般の基準、道徳的基準……天皇の象徴性というようなことを、国民諸君に理解して頂く参考のものを提示したい……国家の道徳的中心は天皇にある、だから先ほど象徴という意味をもつと明らかにしよう……道徳的と言いましたよ。道徳的ですよ

【史料2】中岡哲郎氏へのインタビュー

運動の背景としては、朝鮮戦争があったってことです。そのことがもう、一番大きいですね。その前に、朝鮮戦争が起こって、その時には学生は非常に鋭い危機感だったですね。それで、その危機感って言うのは、またもう一辺ああいう時代が来るのかということですよ。敗戦後五年間って言うのは本当に、開放感のある、つまり我々は貧しかったけれども、世の中は明るいという時代だったでしょう。そういう時代の後に、突然、朝鮮戦争が起こって……もう一回暗い時代に逆戻りする[と考えた]

【史料3】中岡哲郎氏へのインタビュー

正門へ行く道路も舗装され直したんですよね。でその舗装しているのはどこまでかっていうと、正門から10メートルほど向こうまでなんですよね。そこから先はぜんぜん古い舗装なんですよ。まさにこれは表面糊塗というの(笑)……それは、迎える人間に対してすごい侮辱になっているわけですよ。表面糊塗したら、それで事が済むっていうふうを考えるっていうのは、それはやっぱり、相手に対するすごい侮辱でしょう……自分が人間として、すごく侮辱している人間を、戦後は国の象徴である……としてあがめる、そういう政治体制っていうのは一体なんだって言うことですよ。そういう政治体制をまた、我慢できる国民って言うのは一体なんだ……自分たちが軽蔑している人間を上に乗せてそれで国を作ろう、そういう平然としている人々に対する怒りって言うか、そういうものも込めて書いたつもりなんです

【史料4】中岡哲郎氏へのインタビュー

[公開質問状を出すことが天皇の政治性を認めてしまうという指摘に対して、]そういうふうを受け取られる可能性は含んでいるけれども……まさに人間天皇っていう考え方が持っている矛盾をですよ。ある意味での何というか、欺瞞性を、隙間をつく意図でもって、意図を込めながら書いたつもりではある。自分ではですよ

【史料5】『京都新聞』1951年11月13日社説

平安の都として皇室につながっていた美しき市民感情を汚損した……左翼小児病的レジスタンス趣味の一部心なき学生の所業とはいえ……最高学府の学生の良識であろうか……大学にいる資格はない。日本人でもない……日本国民は憲法によって国民あこがれの中心として国家の象徴たる天皇を戴き、新しき敬虔の情を以て対して来ている……学生の風上にも置けぬ存在

【史料6】1951.11.14衆院法務委員会 第三倶楽部世耕弘一

この事件は単なる天皇個人の問題ではなくして、国家の象徴たる天皇ということを考えますとかなり日本の国内の秩序が、大学においてすらあのような騒動が起るのだということが国際的に知れたときには、非常に治安に不安を感じさせるといことが考えられる。ひいては対外的関係から見ても、日本再建に非常に思わしくない……[事件は]相当計画的なものであつた。そうして政治的なもの、政治性を含み、思想的な行動であつた……八千万国民の象徴が蹂躪されたということになる。そうなると憲法問題ではないのです。われわれの体面問題……共産党の人が入つておつた……天皇というものの性格を知らぬ……天皇に対して、平和をどうしてくれるのこうしてくれるの、再軍備をどうしてくれるの、あるいは天皇制をどうしてくれるのというような、決議文とか公開状を書いて渡そうとした、これがすでに非常識だ……天皇はただ国家、国民の象徴であつて、昔の旧憲法のような権限がない……新しい道徳律を確立した御声明があるように承つておりました、私は心強く思つておつた

【史料7】末川博立命館大学総長談、『朝日新聞・大阪版』1951.11.15

社会自体が天皇についてもつと冷静にならないといけない……陛下を神格化してかつぎまわるような印象を与える当局者も考えてほしい。ありのままをお見せして、なぜ悪いか、何かを隠してお見せするのは、かえって陛下をあざむくもので、本当の国民の態度とは言えない

【史料8】『読売新聞』1951.11.16社説

学生の軽率な態度をいましめる前に天皇に対する警察側やその取巻きの態度が深刻に反省さるべきである。天皇はわれわれ民衆にとって近づき難い「神」ではない……戦争の苦悩に生き、合理的な近代精神に覚醒しつつある青年学生は、天皇神格化の働きかけようとする為政者の昔ながらの手段にかえって反逆を感ずるであろう